

新型コロナウイルス感染症に関する東京都検査体制整備計画

令和4年11月
改定

【基本的な考え方】今夏を上回る感染拡大と、インフルエンザとの同時流行も想定し、更なる検査体制の強化を図る。
・国の「基本的対処方針」、「Withコロナに向けた政策の考え方」を踏まえ、重症化リスクの低い方は原則として検査キットでセルフチェック。妊婦、小児、高齢や基礎疾患のある方で受診を希望される方は発熱外来を受診

1 検査需要【最大時】約29.6万件/日

①発熱患者等の検査需要【約14.3万件/日】

- ・発熱患者【最大約9.3万件/日（コロナ約5.0万件/インフル約4.3万）】
…今夏の最大のコロナ感染者数と過去最大のインフルの患者数を基に算出
- ・濃厚接触者【約5.0万件/日】

②都の独自検査【約10.3万件/日】

- ・重症化リスクや集団感染のリスクの高い人のいる高齢者施設等での集中的検査など、実績を基に需要を見込む。
- ③無料検査【約5.0万件/日】
・今夏の実績を基に需要を見込む。

2 検査体制【最大時】約40.7万件/日

※行政検査は、感染ピーク時（発熱患者9.3万件/日）の平日に、医療機関が診療時間の延長等により、最大限稼働した場合を想定
・感染ピーク時にも、重点的に重症化リスクの高い方が確実に受診できるよう体制を構築する。

①-1 行政検査【約12.4万件/日】

- ・高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦、小児への早期治療を開始できる診療・検査体制の構築
- ・必要に応じてインフルエンザとの同時検査を実施

①-2 抗原検査キットによるセルフチェック【約12.0万件/日】

- ・重症化リスクの低い方は、原則検査キットで自己検査

② 都の独自検査【約11.3万件/日】

- ・重症化リスクや集団感染のリスクが高い人のいる高齢者施設等における検査の強化

③ 無料検査【約5.0万件/日】

- ・社会経済活動との両立のため、無料検査の需要増加に対応

検査需要【最大時】合計：約29.6万件/日 < 検査体制【最大時】合計：約40.7万件/日

3 感染拡大に備えた検査体制確保

<迅速な検査・治療を行える体制整備>

- ・診療・検査医療機関数の更なる拡充
- ・かかりつけ患者以外の診療対応についても協力を要請
- ・診断を迅速化し早期治療につなげるため、補助事業により、診療所等（約900）にPCR検査機器等を整備

<医療機関の検査キット不足への対応>

- ・インフルとの同時流行も想定し、都でキットを備蓄し、医療機関へ有償配布（計90万、うちインフル同時検出60万）

<年末年始等における体制確保>

- ・年末年始に稼働する診療・検査医療機関に協力金を支給
- ・医療機関の補完として、地域外来・検査センターに稼働の協力要請

<高齢者、小児への万全な対応>

- ・高齢者施設等への働きかけにより集中的検査への参加促進
入所者にも速やかに検査できるようキットの一時的利用を継続
- ・稼働の減る休日に小児診療を行う医療機関へ謝金支給

今後の検査需要について

本計画における都のピーク時の検査需要：(1)～(3)を合算し、最大約29.6万件/日

(1) 行政検査 約14.3万件/日

基本の検査需要：①今夏の最大感染者数と②過去最大のインフルエンザの患者数と③新型コロナの濃厚接触者数を合計し算出

<国通知に基づき推計>

- ①新型コロナの感染者数(1日あたり) $49,456人 = 東京都人口(R3.10.1日) 14,010,099人 \times 353人 \div 100,000$
(353人(※)に当該都道府県の人口を乗じて得た額を10万で除して算出。(※)今夏の感染拡大で最も人口10万人あたりの新規陽性者数が多かった県の実績値)
- ②インフルエンザの感染者数(1日あたり) $43,057人 = 週単位最大(2019/0120\sim 2019/0126) 258,340人 \div 6日$
(当該都道府県における過去(2013/2014シーズン～2018/2019シーズン)の週単位でのインフルエンザ患者数の最大値を6で除して算出)
- ③濃厚接触者(1日あたり) 50,329人 (第7波の濃厚接触者への抗原検査キットの最大申込実績を基に算出)

基本の検査需要 約142,800件

(重症化リスクが高く発熱外来等受診の可能性のある方：最大約8.7万件/日) (重症化リスクが低く自己検査する方、濃厚接触者：最大約5.6万件/日)

* 外来医療体制整備計画に基づく数値

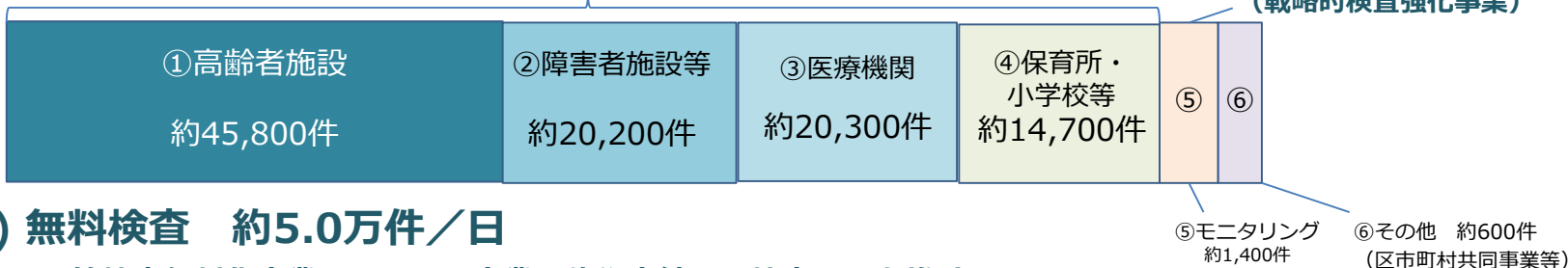
(2) 都の独自検査 約10.3万件/日 (①～⑥)

高齢者施設等の集中的検査及びモニタリング検査について、事業目的や実績から検査需要を推計

- ・①～④の高齢者施設等の職員(無症状者)を対象に定期的に(週2～3回)検査を実施。職員が濃厚接触者になった場合の解除・従事継続のための検査も含む
- ・感染リスクの高い場所等において、無症状者を対象に定期的に⑤モニタリング検査を実施
- ・陽性疑いの結果が出た場合には、医療機関の受診又は陽性者登録センターへの登録を促す

(集中的・定期的検査事業)

(戦略的検査強化事業)



(3) 無料検査 約5.0万件/日

PCR等検査無料化事業について、事業目的や実績から検査需要を推計

- ・感染不安のある方(無症状者)等を対象に、検査無料化事業を実施
- ・陽性疑いの結果が出た場合には、医療機関の受診又は陽性者登録センターへの登録を促す

PCR等検査無料化事業

約50,000件

検査体制について

<ピーク時(平日)に、各機関が最大限稼働した場合を想定し推計>

1 検体採取体制:(1)~(3)を合算し、最大約40.7万件/日 (検査キット配布分を含む。)

(1)-1 行政検査 : 約12.4万件

高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦、小児が重点的に受診・検査できる体制構築

- 検査を実施する医療機関の拡充
- 診療時間の延長、診療日の増設
- オンライン診療の有効活用
- 稼働の減る休日に小児診療を行う医療機関の増 (謝金)
- 年末年始に稼働する医療機関の増 (協力金)
- 地域外来・検査センターに稼働協力要請 (医療機関補完)

(1)-2 抗原検査キットによるセルフチェック : 約12.0万件

- WEB申込等によるキット配布で重症化リスクの低い方が迅速に結果判明できるよう検査機会を確保

(2) 都の独自検査 : 約11.3万件

(3) 無料検査 : 約5.0万件

- 都の独自検査及び無料検査は、PCR検査 (抗原定量検査) 又は抗原定性検査キットを活用
- PCR検査・抗原定量検査は、主に自費検査を実施する民間検査機関に委託し検査分析
- 抗原定性検査はその場で実施、結果判明

(行政検査)			(セルフチェック)		(独自検査)					(無料検査)	総合計 約40.7 万
診療・検査 医療機関等	地域外来・検査センター (PCRセンター)	保健所	合計	濃厚接触者・有症状者 向け検査キット配布	高齢者施 設	障害者施 設等	医療機関	保育所・ 小学校等	モニタリ ング等	上振れ 対応	
11.9万	0.3万	0.1万	12.4万	12.0万	4.6万	2.0万	2.0万	1.5万	0.2万	1.0万	5.0万

数値は、各機関への調査結果を基に推計 (単位: 件/日)。端数処理の関係で内訳と合計は必ずしも一致しない。

上振れ対応
独自検査の需要の増加に備え1割を上乗せ
し検査能力を確保 (モニタリングを除く)

2 検査分析体制:(1)~(3)を合算し、最大約45.4万件/日 (検査キット配布分を含む。)

(1)-1 行政検査 : 約17.1万件

- 補助事業により診療所等へのPCR等検査機器整備促進 (診断迅速化・早期治療)
- 感染拡大時には、迅速に結果が判明する抗原定性検査の増加 (検査の効率化)
- インフルエンザとの同時流行時には、インフルとコロナの同時検出キットの活用を促進
- 医療機関でのキット不足に備え、都で同時検出キットも含め備蓄、有償配布

(2) 都の独自検査 : 約11.3万件

(3) 無料検査 : 約5.0万件

検体採取と同数値

- (注) 行政検査を担う民間検査機関のひっ迫時には、無料検査を行うPCR検査事業者に対し、行政検査への協力を要請。調整の下、行政検査の分析能力としても活用

(1)-2 セルフチェック : 約12.0万件

	診療・検査 医療機関等 (自院で検査)	地域外来・検査センター (PCRセンター)	保健所	都健安研	民間検査 機関 (医療機関からの行政検査依頼可)	濃厚接触者・ 有症状者向け 検査キット配布	高齢者施 設	障害者施 設等	医療機関	保育所・ 小学校等	モニタリ ング等	上振れ 対応	無料検査	総合計 約45.4 万
	件数	7.4万	0.2万	0.1万	0.1万	9.3万	12.0万	4.6万	2.0万	2.0万	1.5万	0.2万	1.0万	
PCR	25,124	1,490	545	1,000	85,883		14,087	2,712			1,960	1,736	34,500	169,037
抗原定量	3,753	50			6,996								500	11,299
抗原定性	45,378	160	300			120,000	31,714	17,431	20,327	14,689		8,416	15,000	273,415

数値は、各機関への調査結果を基に推計 (単位: 件/日)。端数処理の関係で内訳と合計は必ずしも一致しない。

検査体制 : 最大約40.7万件/日 (= 検体採取 < 検査分析) 最大検査需要 (約29.6万件/日) にも対応可能な体制を確保